

事務事業名	《H24新規》芦安教育推進事業		所属部局	教育委員会	単位番号	2012-900045				
	□ 実施計画事業		所属課室	南アルプス教育推進課	課長名	小田切 雅裕				
			所属担当	教育指導担当	担当者名	小林智奈美				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	23	学校教育の充実		01	一般	10	01	02	020	88
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 芦安小中学校を、豊かな自然や少人数学級の良さを活かした様々な特色ある学校教育を推進するため、英会話科を設置する。小中学校の9年間を通じた英会話活動を進め、特別な教育課程の編成が叶となる教育課程の特例校の指定を文部科学省に申請し、H25年度より開始する。そのための特任講師を芦安小中学校へ配置する。			事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				賃金	2,788					
			印刷製本費	100						
						計	2,888			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	24年度活動実績 芦安小中学校へ英語の特認講師を配置し、英会話科設置に向けて準備を行うとともに文科省へ特例校の指定を申請した。 25年度活動予定 芦安小中学校の英会話科設置に伴い、広く市民へ学校の特色をPRするためのチラシを作成し、児童生徒募集を行う。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	芦安小中学校児童生徒 芦安小中学校 教員
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	芦安小中学校の少人数のきめ細やかな指導を行うことにより、コミュニケーション能力を高め、英会話や自然体験活動を通いさいきと学ぶ環境を整える。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	芦安小中学校の児童生徒数を増加させ、学校を存続させること。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 芦安小中児童生徒数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 芦安小中教員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 芦安小中児童生徒数	人	イ 芦安小中教員数	人	ウ	
名称	単位								
ア 芦安小中児童生徒数	人								
イ 芦安小中教員数	人								
ウ									
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 芦安小中児童生徒数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 芦安小中教員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 芦安小中児童生徒数	人	イ 芦安小中教員数	人	ウ	
名称	単位								
ア 芦安小中児童生徒数	人								
イ 芦安小中教員数	人								
ウ									
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 芦安小中児童生徒数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 芦安小中教員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 芦安小中児童生徒数	人	イ 芦安小中教員数	人	ウ	
名称	単位								
ア 芦安小中児童生徒数	人								
イ 芦安小中教員数	人								
ウ									
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 芦安小中児童生徒数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 芦安小中児童生徒数	人	イ			
名称	単位								
ア 芦安小中児童生徒数	人								
イ									

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地芳債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	0	3,300	2,788	150				
		事業費計(A)	千円	0	3,300	2,788	150	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人		4	4	4				
		延べ業務時間	時間		100	100	100				
		人件費計(B)	千円	0	396	396	396	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	3,696	3,184	546	0	0	0	0
	活動指標	ア	人		33.0	40.0	43.0				
		イ	人		18.0	18.0	18.0				
	対象指標	ア	人		33.0	40.0	43.0				
		イ	人		18.0	18.0	18.0				
	成果指標	ア	人		33.0	40.0	43.0				
		イ	人		18.0	18.0	18.0				
	上位成果指標	ア	人		33.0	40.0	43.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H24に芦安小中学校の特色、豊かな自然や少人数学級の良さを活かした様々な要素を取り入れ、さらに小中学校9年間を通じた英会話活動を進めるため開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?また、今後の予測は?	芦安地区は、高齢化が進み児童生徒数も減少傾向にあり、芦安地区のチロル学園を閉鎖することにより、芦安小中学校の児童生徒数は、さらに減少が見込まれる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	児童生徒数が減少しても、学校を存続させたい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	英会話科を導入により特色ある学校づくりをし、学校全体が活気ある取組みを展開していく。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	児童生徒募集部会を立ち上げ、チラシを作成し、広報活動に力を入れた。

事務事業名	《H24新規》芦安教育推進事業	所属部	教育委員会	所属課	南アルプス教育推進課
-------	-----------------	-----	-------	-----	------------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 公立小中学校の存続に対する取組みであるため。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 公立小中学校の存続に対する取組みであるため。  事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 文科省に申請した英会話科設置に対し、特例校として認定されている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 特色ある学校づくりの内容を充実させ、より一層の魅力を持たせる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！)  <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】  <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 特色ある学校づくりの内容に魅力を感じて入学・転校された児童生徒がいるため。 文科省にて英会話科設置について特例校の認定を受けている。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 市民や就学児前の保護者への周知は必要である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 児童生徒募集や情報提供など、学校での児童生徒へ指導する内容以外は、市教委の担当者が行っているため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 公立小中学校の存続に対する取組みであるため。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今回の募集により、途中で転校した児童生徒も含め、9人が新たに芦安小中学校へ入った。これからも、英会話科に加え、自然体験活動など、芦安小中学校ならではのプログラムを充実させること、より一層のPRの工夫や徹底を、考えていかなければいけない。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 芦安小中学校を小中連携英会話科研究推進校に指定し、独自カリキュラムを作成し、9年間にわたって英語表現を使ったコミュニケーションを楽しみ、英会話力を高めていくことを目的とした。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 H24年度に文部科学省から「教育課程特例校」の認可を得た。それによって独自カリキュラムの作成が可能となった。	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑥	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑥																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					